

## X 栽培漁業事業化促進事業

小 川 健・狭 間 弘 学

### 目 的

和歌山県北部地域における栽培漁業の漁業者への定着を図るため実施される標記事業において、指導事業を担当し、ヒラメの放流効果を把握する。

### 調査の項目と内容

表1に示すとおりである。

表1 調査の項目と内容

実施項目	内 容	方 法
標識放流調査	放流年月日：1992年5月22日 放流場所：日高郡由良町神谷地先（由良湾） 放流魚： $\overline{TL}=10.3\text{cm}$ , 17,360尾, $\overline{TL}=11.0\text{cm}$ , 1,998尾（県栽培漁業協会が放流） 標 識： $\overline{TL}=10.3\text{cm}$ , アンカータグ15mm, 青色, 番号 2 $\overline{TL}=11.0\text{cm}$ , ダート型, 黄色, 記号, WK・2 調査方法：漁業者等からの再捕報告による	
標本船調査	調査場所：湯浅中央, 箕島町および雑賀崎漁業協同組合 対象漁船：小型底曳網漁船3隻ずつ, 計9隻 調査項目：操業年月日, 場所, 漁獲尾数・重量, 体色異常魚等の尾数・重量など 調査期間：1992年4月～'93年3月	
市場調査	調査場所：比井崎漁業協同組合魚市場 調査項目：ヒラメ水揚げ尾数・重量, 出漁隻数, 使用反数および体色異常魚の混獲状況等 調査期間：1992年9月～'93年4月	

### 結 果

#### 1 標識放流調査

'92年度放流群の再捕報告は'93年3月末までにはなかった。しかし放流後7日頃, 由良湾内の放流地点付近の海底に, 脱落したダート型標識(29本回収済)と斃死した装着魚が一面に散乱しているのがみられたとの報告があり, 標識については, 装着技術とともに調査目的に応じた使用方法を検討する必要があると思われた。

#### 2 標本船調査

調査結果は表2, 3および4に示した。

漁獲量が冬場に多くなる傾向は例年と同様であった。雑賀崎漁協における小型個体の漁獲尾数は、やはり7, 8月に多く、紀ノ川河口域で漁獲されている。

体色異常魚の混獲率は、雑賀崎漁協が'91年の4.1%から0.45%に低下したが、湯浅中央漁協では1.20%から6.95%に、箕島町漁協では3.30%~5.00%にそれぞれ少しずつ高くなった。

表2 湯浅中央漁協標本船調査結果

項 目	1992年										1993年			計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12月	1	2	3月		
漁獲尾数	0	0	0	0	17	12	0	18	58	77	5	-	187	
重量 (kg)	0	0	0	0	2.9	4.9	0	15.0	40.6	58.0	5.5	-	127.0	
平均体重 (kg)	-	-	-	-	0.17	0.41	-	0.83	0.70	0.75	1.1	-	0.68	
体色異常魚														
尾 数	0	0	0	0	7	0	0	1	2	3	0	-	13	
重 量 (kg)	0	0	0	0	0.14	0	0	0.4	1.8	1.15	0	-	3.5	
平均体重 (kg)	-	-	-	-	0.02	-	-	0.40	0.90	0.38	-	-	0.27	
混獲率 (尾数%)	-	-	-	-	41.2	0	-	5.5	3.4	3.9	0	-	6.95	

表3 箕島町漁協標本船調査結果

項 目	1992年										1993年		計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12月	1	2月		
漁獲尾数	11	10	4	3	6	17	8	7	3	17	54	140	
重量 (kg)	12.0	12.6	2.5	6.0	3.7	16.5	5.7	13.4	3.4	17.5	51.2	144.6	
平均体重 (kg)	1.09	1.26	0.63	2.0	0.62	0.97	0.72	1.91	1.13	1.03	0.95	1.03	
体色異常魚													
尾 数	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	2	7	
重 量 (kg)	0	0.5	0.01	0	0	3.1	0	0.9	0	0	0.6	5.1	
平均体重 (kg)	-	0.5	0.01	-	-	1.55	0	0.9	0	0	0.3	0.73	
混獲率 (尾数%)	0	10.0	25.0	0	0	11.8	0	14.2	0	0	3.7	5.0	

表4 雑賀崎漁協標本船調査結果

項 目	1992年										1993年			計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12月	1	2	3月		
漁獲尾数	32	35	14	177	163	77	41	38	101	52	-	-	730	
重量 (kg)	30.6	18.7	7.0	16.5	8.6	9.0	16.5	26.7	84.3	30.5	-	-	248.3	
平均体重 (kg)	0.96	0.53	0.50	0.09	0.05	0.12	0.40	0.70	0.83	0.59	-	-	0.34	
体色異常魚														
尾 数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	-	-	3	
重 量 (kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	-	-	3.3	
平均体重 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	-	-	-	1.1	
混獲率 (尾数%)	0	0	0	0	0	0	0	0	2.97	0	-	-	0.45	

### 3 市場調査

市場調査結果は表5に示した。延べ出漁隻数が前年度より100隻余り少なくなり、漁獲量も1549尾、1893.7kgと、91年度の2598尾、3195.5kgより約40%減少した。漁獲されたヒラメの平均体重は1.22kgで例年と差はないが、体色異常魚は91年度の0.69kg/尾から0.96kg/尾と大きくなり、また尾数混獲率も5.7%から7.7%に増加した。

表5 比井崎漁協市場調査結果

項 目	1992年				1993年				計
	9	10	11	12月	1	2	3	4月	
操業日数	4	13	13	21	24	17	15	19	126
延出漁隻数	4	19	23	70	104	63	33	35	351
漁獲尾数	4	35	45	301	733	312	62	57	1549
重 量 (kg)	2.5	31.8	48.0	345.7	934.4	414.6	68.4	48.3	1893.7
平均体重 (kg)	0.63	0.91	1.07	1.15	1.27	1.33	1.10	0.85	1.22
体色異常魚等									
尾 数	1	8	7	24	34	31	9	5	119
重 量 (kg)	0.5	6.5	5.8	26.0	34.9	29.5	8.1	3.5	114.8
平均体重 (kg)	0.5	0.81	0.83	1.08	1.03	0.95	0.9	0.7	0.96
混獲率(尾数%)	25.0	22.9	15.6	8.0	4.6	9.9	14.5	8.8	7.7
1隻当り漁獲尾数	1.0	1.8	2.0	4.3	7.0	5.0	1.9	1.6	4.4